

災害時に「正解のない問い」に立ち向かう力を身に付ける！

改訂 命を守る 防災学習ノート

A4判 / 48頁 / 定価600円(本体546円+税10%)

対象	小学校高学年から高等学校、特別支援学校まで。学年をまたいで使用可
授業時数	1章に付き1~2コマ(実績からの目安時数)
教科等	社会・理科・保健体育・家庭科・総合・特活など
ねらい	知識・技能、思考判断表現、主体的に学ぶ態度
付属資料等	教師用指導資料、授業用投影データ(PPT)、関連サイトのリンク集

編著：佐々木 克敬(東北工業大学教授、元宮城県仙台第三高等学校校長)

東日本大震災発生時、宮城県教育庁指導主事として災害対応に従事。その後、災害科学科が設置された多賀城高等学校にて教頭・校長、仙台第三高等学校校長を経て現職。著書に『学校安全ポケット必携』『今すぐできる学校の防災管理』(東京法令出版)。



POINT 1

科学的根拠に基づく力

科学的根拠に基づいた「主体的・対話的で深い学び」を通じて、生涯にわたって自分の命を守ることができる力を育成!

POINT 2

全校種対応

小学校高学年から高等学校、特別支援学校まで全校種で使える設計!

学習指導要領との対応例はこちらから➡



POINT 3

教科横断的な展開

各教科(社会・理科・保健体育・家庭科など)や総合的な学習(探究)の時間と円滑に連動しながら、継続的な防災教育を実現!

内容見本(縮小)

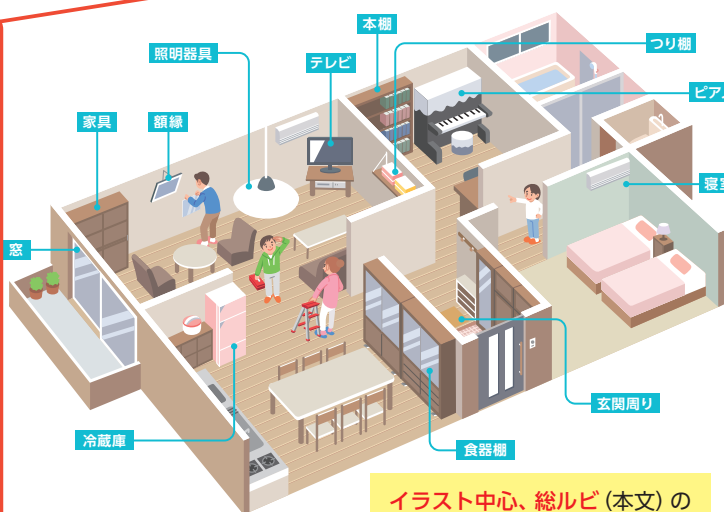
[1] 家の中の安全点検を行おう

日ごろから家の中の安全対策を行うことによって、被害を軽減することができます。建物は無事でも、家具の転倒などで負傷したり、逃げ遅れたりする場合があります。

教員向け詳細な指導解説(赤刷部分)で、防災教育に不安がある先生も安心して授業に臨める

【参考：一戸建て家屋外周では】

- ・ガラスには飛散防止用フィルムを貼る。
- ・庭やベランダには、飛びやすいものや落下の可能性があるものは置かない。
- ・出入り口付近には物を置かない。特にドア付近に倒れかかるものには注意する。
- ・ブロック塀は基礎がしっかりしているか、塀には鉄筋がしっかりと入っているか業者などと確認する。
- ・屋根の上の不安定なアンテナはしっかりと固定する。瓦の補強やトタン屋根の固定などを確認する(西日本では台風に備えるためしっかりとした瓦屋根が多い)



地震に強い家具の配置を心掛ける。

- ・出入り口付近や通路に家具を置かない。
- ・家具は壁に付けて置き、窓ガラスから離す。
- ・家具の上に、重いものや割れやすいものを置かない。
- ・高齢者や支援が必要な人の部屋、子ども部屋にはできるだけ家具を置かない。

【家具の固定】

- ・家具は金具、突っ張り棒、突っ張り棒で壁や天井、床に固定
- ・2段、3段重ねの家具はずれないように金具等で固定補強
- ・ピアノ、テレビ台、冷蔵庫、電子レンジなどはすべり止めマット、固定パンなどで固定

【落下物やわれもの類】

- ・ガラスには飛散防止フィルムを貼る。
- ・照明器具は数が所で留める。



イラスト中心、総ルビ(本文)のわかりやすい構成で、すべての児童・生徒が理解しやすい

児童・生徒が自ら考え判断し、主体的に学習に参加するための大切な仕掛けとして各章に配置

家の中の安全を確保するためにはどのような工夫が必要ですか、上の図から最低3つを考えてみましょう。



とうほう

地域の自然環境や災害を「知る」ことからスタートし、 家の安全点検やマイハザードマップ作成など「考える・行動する」活動へとつなげる構成!


『命を守る防災学習ノート』各章の概要と学習指導要領との対応例(抜粋)

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
01 「災害の種類と特徴を知ろう」… 自然災害の種類と特徴、地形に応じて起きる災害、自助・共助・公助			
理科(第5学年)／社会科(第3～5学年)／生活科	理科(第2分野)／社会科(地理的分野)	地理総合／地学基礎／科学と人間生活	理科・社会科(各部の段階に準じた内容。以下同)／日常生活の指導
流れる水の働き・土地の変化、天気の変化、自然災害の種類と国土への影響	地震の仕組みと揺れの伝わり方、火山活動と地形変化、気象とその変化、日本の自然環境と自然災害の特色	自然環境と防災(様々な自然災害の特徴と分布)、地震・火山・気象災害のメカニズム	発達段階・障害特性に応じた自然災害の種類の理解、身の回りの危険の認識
02 「人間生活と災害の関係を考えよう」… 産業災害・公害・感染症・CBRNE災害、複合災害、ESD/SDGsと防災・減災			
社会科(第5学年)／総合的な学習の時間	社会科(地理的分野・公民的分野)／理科(第2分野)／保健体育(保健分野)	地理総合／公共／保健体育(保健)／科学と人間生活	社会科・理科・保健体育
国土の環境保全、公害と人間生活の関係	自然環境と人間活動の関わり、環境問題・公害、感染症の予防	自然環境と人間生活の脆弱性、現代社会の諸課題(環境・公害・感染症、健康と疾病の予防)	生活環境と健康、身近な公害・感染症の理解
03 「台風、大雨に伴う災害に備えよう」… 台風のメカニズム、雨風の強さ、台風接近時の行動、マイ・タイムライン作成			
以下の章の対応例は、弊社Webサイト(本紙表面の二次元コード読み込み)からご覧ください。			
04 「大地震に備えよう」… 海溝型地震と内陸型地震(過去の大地震の事例)、大地震発生時の行動、津波の特徴と避難行動			
05 「災害が都市を襲ったら」… 首都直下地震、都市型水害・局地的大雨・大火・都市型津波、ライフラインの寸断			
06 「情報をうまく使って災害を防ごう」… Jアラート、防災気象情報、緊急地震速報、警戒レベル、情報リテラシー			
07 「我が家の安全を確保しよう」… 家具の固定、非常持出品・備蓄品の準備、家庭での防災対策			
08 「自分のまちのハザードマップ(防災マップ)を確認しよう」… ハザードマップの見方・活用、避難場所等の確認			
09 「徒歩帰宅訓練 いざ避難に備えて」… 避難訓練の工夫、帰宅困難への備え、徒歩帰宅訓練の実践、避難経路の確認			
10 「マイハザードマップ(防災マップ)をつくらう」… 危険箇所・防災資源の調査、オリジナル防災マップ作成			
発展「災害としての感染症」／「災害時に配慮が必要な方のマーク」 付録「防災に関する情報源」・「防災に関するゲーム」／「私の防災対策シート」			

付属資料「授業用投影データ(PPT)」を使用した授業例

Check!


2024年の能登半島地震を例にとり、複合災害が起きると被害がどのように大きくなるのか、次の語句を含めて説明しましょう。(津波、火災、大雨)



Check!

2024年の能登半島地震を例にとり、複合災害が起きると被害がどのように大きくなるのか、次の語句を含めて説明しましょう。(津波、火災、大雨)


地震により建物が倒壊し道路も寸断され、沿岸部では津波が被害を拡大した。また、各地で火災が発生し特に輪島市では大きな被害が出た。続く秋の大雨による土砂災害でライフラインの復旧が遅れ、復興に大きな影響が出た。



Check!

2024年の能登半島地震を例にとり、複合災害が起きると被害がどのように大きくなるのか、次の語句を含めて説明しましょう。(津波、火災、大雨)

(自由記入欄)



- ・「Check!」「考えてみよう!」等の問題画像を投影
- ・児童・生徒の解答が出揃ったら、解答例(※)をアニメーション表示で答え合わせ
- ※本書の解答例のほか、先生ご自身の解答例や児童・生徒の解答を入力するなど自由に編集して投影することもできます。

採用校の活用例・感想

- 3年間かけて活用することを想定して採用。1年目は災害の基礎を、2年目は情報の取り入れ方や家庭の安全対策を、最後の3年目では地域社会での役割と段階的に深い学びを取り入れることができました。(中学校)
- 家庭で保護者と防災について活発に議論した生徒もいて学校の外へ学びが広がる一定の成果がありました。(中学校)

とうほう 東京法令出版 禁社

〒112-0002 東京都文京区小石川5丁目17-3 ☎03(5803)3304
 〒534-0024 大阪府都島区東野田町1丁目17-12 ☎06(6355)5226
 〒062-0902 札幌市豊平区豊平2条5丁目1-27 ☎011(822)8811
 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目1-10 ☎022(216)5871
 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目6-34 ☎052(218)5552
 〒730-0005 広島市中区西白島町1-1-9 ☎082(212)0888
 〒810-0011 福岡市中央区高砂2丁目13-22 ☎092(533)1588
 〒380-8688 長野市南千歳町1-0-05 ☎026(224)5411

受注センター

〒381-0022 長野市大豆島 3111

●お電話でのお申込み

026-224-5411

●FAXでのお申込み

026-224-5419